

【会長】

お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

それでは、円滑に議事の進行が行えますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

本日の議事は、

- (1) 令和 6 年度決算及び令和 7 年度予算について
- (2) 令和 6 年度地域公共交通計画進捗確認及び令和 7 年度以降の取組について
- (3) 令和 8 年度地域内フィーダー系統補助認定計画について
- (4) その他

でございます。

それでは、議事に入らせていただきます。まず、「令和 6 年度決算及び令和 7 年度予算について」、事務局から説明をお願いします。

議事 1 「和歌山市公共交通政策推進協議会令和 6 年度決算報告及び令和 7 年度予算案について」説明（資料 1）

【事務局】

それでは、「和歌山市公共交通政策推進協議会令和 6 年度決算報告及び令和 7 年度予算案について」、お手元の資料 1 に沿ってご説明します。

令和 6 年度は前年度繰越金及び、和歌山市からの負担金収入、により予算総額 199,922 円に対して、歳入実績額は、国土交通省より入金した有功線地域バス車両購入費の令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 1,104,000 円を含む 1,303,922 円となりました。当該年度分からは当協議会を経由して、本市に補助金が入るという流れになっているので、このように対処しております。

歳出は、合計 3 回開催した推進協議会による委員報酬費 26,000 円、食糧費 4,595 円、会場借上費 8,010 円、手数料 660 円および、高校とまちなかの大学の新入生向けに公共交通利用促進チラシを配布したことによる印刷製本費 71,500 円、和歌山市の雑入へ入金した 1,104,000 円を執行し、計 1,214,765 円となり、89,157 円が予算残額となりました。よって、収入済額計 1,303,922 円から執行済額計 1,214,765 円を差し引いた残額 89,157 円が令和 7 年度への繰越金となります。

次のページをご覧ください。令和 6 年度決算については、令和 7 年 5 月 8 日に監査を実施し、誤りがない報告を頂戴しています。

次のページをご覧ください。令和 7 年度については、歳入として、前年度からの繰越金 89,157 円及び和歌山市からの負担金収入 78,000 円、地域内フィーダー系統確保維持補助金等 3,725,000 円により、予算総額 3,892,157 円を予定しております。次に歳出として、事業費については協議会の開催を 2 回想定しており、会議に係る費用 78,000 円を計上し、事務費に 9,000 円、利用促進事業に 80,157 円、和歌山市の雑入への入金として 3,725,000 円を考えております。

事務局からの説明は以上になります。

【会長】

ありがとうございました。内容について、何かご意見、ご質問がございましたらお伺いしたいと思います。皆様何かございますでしょうか。

（意見、質問なし）

それでは、了承いただいたものとして、よろしいでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございます。では内容については、了承いただきました。

続きまして、議事2「令和6年度地域公共交通計画進捗確認」について、事務局から説明の方よろしくをお願いします。

議事2「令和6年度地域公共交通計画進捗確認及び令和7年度以降の取組について」説明（資料2）

【事務局】

地域公共交通計画進捗状況についてお手元の資料2に沿って、説明させていただきます。

計画の進捗状況について、時間の関係上、令和6年度・7年度の主要な事業をご説明させていただきます。

まず、令和6年度は、施策番号②-1「新たな交通システムによる利便性向上の検討」として、自動運転実証運行事業をJR和歌山駅から西汀丁交差点、県庁前交差点、屋形町交差点、三木町交差点を通り、JR和歌山駅まで戻って来るルートで12日間実施しました。その右隣りに決算見込み額を記載しております。

続きまして、次のページに移りまして、施策番号⑦-1「バス路線を補完するシェアサイクル等の検討」として、令和6年度からシェアサイクルを導入し、市内8か所にシェアサイクルポートを設置しました。

次に、施策⑨-1「地域が主体となった持続可能な地域内交通の導入」について、令和5年度の地域バス実証運行を踏まえ、令和6年11月から新たに川永・紀伊線の本格運行を開始いたしました。

次のページに移りまして、⑮-1「駅のバリアフリー化の推進」として、紀ノ川駅周辺バリアフリー基本構想を策定し、今後、紀ノ川駅のエレベーター設置などのバリアフリー化に向けて、準備を進めてまいります。

続いて、最後のページの㉔-1「徳島エリアと連携した広域周遊施策の検討」として、小学生の運賃が無料となる「小学生体験キャンペーン」を令和7年2月の土日祝日で実施しました。また、㉕-2「運転手不足の解消」として、令和7年2月7日より日本版ライドシェアの運行を開始いたしました。

続いて、最初のページにお戻りください。令和7年度は、施策番号②-1「新たな交通システムによる利便性向上の検討」として、雑賀崎グリーンスローモビリティの実証実験を行います。昨年度の3月8日より実施しており、平日はラストワンマイル輸送、休日は観光客輸送として移動手段を確保することで、和歌山バスの雑賀崎循環線の利用促進を図ります。

次に、3ページの⑮-1「駅のバリアフリー化の推進」として、紀ノ川駅のバリアフリー化が完了する見込みとなっております。

最後に4ページの㉔-1「サイクリング客のアクセス、受け入れ環境確保の検討」として、和歌山線にて昨年度実証運行を行いましたサイクルトレインが令和7年3月16日から本格運行を開始しています。また、㉕-2や㉕-3にあるようなイベントや交通教室などの利用促進事業を昨年度に引き続き進めてまいりたいと考えております。

事務局からの説明は以上になります。

【会長】

ありがとうございました。内容について、何かご意見、ご質問等がございましたらお伺いしたいと思います。皆様何かございますでしょうか。

意見、質問に対する応答

【委員A】

自転車のマナーが悪く、マナーを理解していない人が多いです。マナー啓発は、県、市、あるい

は警察などが行っているのですか。どこもやらないような状況が続いており、新たなモビリティが増えてきた中で、怖いなど感じることもあります。

【委員 B】

現在、県警でも自転車のマナー違反は問題視しているところであり、各警察署で反則切符を用い、反則告知の対象として扱うよう進めております。自転車も取り締まりを強化する方針となっております。

【事務局】

マナー啓発については、今後、県や警察などと連携し、検討していきます。

【委員 C】

・令和 6 年度の評価を考えるうえで、昨年度実施した内容の結果が分かるようなものを可能であればいただきたいです。

・今後の貴志川線のあり方については、この協議会ではなく、貴志川線の再生協議会の方で扱うということでしょうか。

【事務局】

・令和 6 年度の実績については、公表できるものをまとめて皆様に配布します。

・ご指摘のとおり貴志川線については、再生協議会で今後のあり方等の協議を進めてまいります。

【会長】

それでは、内容について、了承いただきたいと思います。いかがでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございます。了承いただきました。

続きまして、議事 3「令和 8 年度地域内フィーダー系統補助認定計画について」について、事務局から説明の方よろしくをお願いします。

議事 3「令和 8 年度地域内フィーダー系統補助認定計画について」説明（資料 3）

【事務局】

令和 6 年度に承認いただきました令和 7 年度地域内フィーダー系統補助認定計画の令和 8 年度分となります。これは、本市の地域バス「木本・西脇線」、「有功線」の運営費に対する国庫補助の申請で、昨年度に引き続いての申請となります。

それでは、申請書等の主な変更部分についてご説明いたします。

まず、1 枚目・2 枚目については、昨年度と変更ございません。

次に右上に別紙と記載しているホッチキス止めの資料について、地域バスの運行形態に変更がないため、令和 6 年度から申請書内容に変更はほとんどありませんが、2 ページ目の目標値の利用者数、4 ページ目の 5 番の費用総額を最新のものに更新しております。

次に、左上に表 1 と記載している資料の運行日数、表 5 の不便地域人口についても最新の数値に更新しておりますので、またご確認いただければと思います。

なお、本申請内容につきましては、事前に近畿運輸局和歌山支局にご確認いただいております。

また、国庫補助申請の過程で生じた軽微な変更につきましては、事務局にご一任いただければと存じます。

令和8年度地域内フィーダー系統補助認定計画についての説明は以上です。

【会長】

以上になりますが、何かご意見、ご質問等がございましたらお伺いしたいと思います。皆様何かございますでしょうか。

(意見、質問なし)

それでは、了承いただいたものとして、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。では内容については、了承いただきました。

最後に議事4の「その他」について、JR西日本和歌山支社様より、和歌山市内のJR各駅・各路線の利用状況について、ご説明がございます。それでは、よろしくお願いいたします。

議事4「その他」…JR西日本より説明

【委員D】

昨今の市内JR各線のご利用状況について、弊社からご説明・ご相談させていただきます。

残念ながら、県内全エリアのご利用が増えているとはいえず、コロナ前の水準に達していません。和歌山駅の乗車人員も1993年をピークに減少し、コロナで激減しているものの、わずかに回復傾向が見られます。

続いて、阪和線です。民営化時から現在を比べると増えてはいますが、こちらもコロナ前ほどの水準ではなく、厳しい状況です。

続いて、紀勢本線です。駅によって特色があり、紀三井寺や宮前は昔と比べると増えており、近隣施設の関係もあるのかなと感じます。

続いて、和歌山線ですが、大変厳しい状況で増える傾向になく、低迷しているといえます。京奈和自動車道ができた影響が大きいです。

続いて、交通分担率ですが、鉄道についてもあまり振るわないという状況が続いています。年々、分担率が下がっており、道路整備の影響がかなり出ているところです。本日の議事2の計画進捗管理でもございましたが、「鉄道駅からのアクセスの強化・充実」が鉄道利用の向上に寄与する非常にありがたい施策だと感じます。このまま、ご利用が低迷すると列車本数を減らさざるを得ないということにもなりますので、弊社としては危機感を持っているところでございます。

【会長】

ありがとうございました。内容について、何かご意見、ご質問等がございましたらお伺いしたいと思います。

皆様何かございますでしょうか。

意見、質問に対する応答

【会長】

和歌山線沿線で列車を使って行きやすいおすすめスポットはございますか。

【委員D】

沿線は特にフルーツが充実していますが、駅から離れたところにあるのがほとんどです。以前、私が工事関係の部門にいた時も車で行っていました。今後は、10分くらい歩いてフルーツを買いに行け

るようなところや自転車を使って行けるようなところもしっかり告知していくことが重要だと感じます。

【委員 A】

- ・関西各地のローカル線も同じように減っているのでしょうか。
- ・まちづくりをして観光客が増えているという稀な事例を基礎自治体に落とし込んで、県とも一緒になって観光地づくりをすれば地域の活性化にもつながるのではと思ったのですが、ポイントがあれば教えてほしいです。

【委員 D】

- ・このあたりだと、奈良県内は和歌山線とつながっている桜井線、滋賀県内の京都・大津から離れた草津線などでも、低迷が続いています。
- ・駅を降りた後にどう動けばよいのかというアクセス改善が課題で、弊社でも白浜でご協力をいただいて取り組みを進めています。目に見えた改善効果があるかどうかは把握しきれていないのですが、今後効果検証等をしたうえで、皆様にご紹介できればと思います。

【会長】

本日の議事は以上になりますが、これまでの議事も含めて、何かご意見、ご質問等がございましたらお伺いしたいと思います。

皆様何かございますでしょうか。

(意見なし)

それでは、これで、本日の議事はすべて終了しました。皆様ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

【事務局】

以上をもちまして、令和7年度第1回和歌山市公共交通政策推進協議会を終了いたします。本日は、お忙しい中誠にありがとうございました。